

第2次男女共同参画計画推進の指標実施状況調査票

番号	指標名	計画策定時	現状値	目標値(2021)	現状値説明
1	市の審議会等における女性委員の割合	32.3% (2016.4.1)	34.4% (2017.4.1)	40%	全審議会等委員750人のうち、女性258人
	国の「第4次男女共同参画基本計画」の目標値を参考に設定				
2	市の管理職（課長級以上）における女性の割合	12% (2016.4.1)	16% (2017.4.1)	15%	管理職（課長級以上）全体132人のうち、女性21人
	「茨木市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画（2016～2020年度）」の目標値を引用（一般行政職を含む全職員） なお2021年度は、次期計画の目標値を適用				
3	市立小・中学校長・教頭における女性の割合	16.3% (2016.4.1)	16.3% (2017.4.1)	25%	小学校長 全体32人のうち、女性7人で21.9% 小学校教頭 全体32人のうち、女性7人で21.9% 中学校長 全体14人のうち、女性0人で0% 中学校教頭 全体14人のうち、女性1人で7.1%
	大阪府の「公立学校における特定事業主行動計画」の目標値を参考に設定				
4	賃金や待遇で「男女が平等になっている」と感じている人の割合	女性10.3% 男性21.2% (市民意識調査)		女性40% 男性50%	
	市民意識調査の結果をもとに「どちらかといえば〇〇の方が優遇されている」という回答者の半数が「平等」と回答するようになるよう算出				
5	「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」という言葉を知っている・聞いたことがある人の割合	女性38.8% 男性46.4% (市民意識調査)		50%以上	
	2016年度の目標値を継続して設定				
6	「仕事」「家庭や地域活動」「個人の生活」など、現実と希望が一致した暮らし方をしている人の割合	女性38.5% 男性37.2% (市民意識調査)		女性70% 男性70%	
	市民意識調査をもとに、希望した暮らし方ができていない人の割合が半数に減るよう算出				
7	市における男性職員の「育児休業」取得者率	2.2% (2015年)	7.7%	5%	52人中4人
	「茨木市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画（2016～2020年度）」の目標値を引用（一般行政職を含む全職員） なお2021年度は、次期計画の目標値を適用				
8	パパ&ママクラスのカップルの参加率	82.1% (2015年)	97.3% (2017年)	85%	全参加妊婦482人のうち、パートナー参加者469人（平成29年度）
	現状値をもとに今後の推移を考慮し、めざすべき数値として算出				
9	乳がん・子宮がん検診受診率	乳がん16.8% 子宮がん20.1% (2015年)	乳がん15.2% 子宮がん18.1% (2017年)	乳がん45% 子宮がん45%	平成28年度から平成28年11月30日付健が発1130第1号に基づく方法により受診率を算出
	上記、現状値及び目標値については、「健康いばらき21・食育推進計画（第3次）（2018～2023年度）2018年3月見直し」の目標値を引用				
10	「デートDV」という言葉を知っている・聞いたことがある人の割合	女性35.5% 男性29.5% (市民意識調査)		女性75% 男性75%	
	2016年度の目標値を継続して設定				
11	女性に対する暴力防止の啓発や講座の実施回数と参加人数	6回/年、373人 (2015年)	8回/年、445人 (2017年)	10回/年 650人	暴力防止講座等
	2016年度の目標値を継続して設定				
12	子ども・若者へのデートDV防止啓発や講座の実施回数と参加人数	18回/年 3,956人 (2015年)	16回/年 2,721人 (2017年)	27回/年 6,000人	全市立14中学の2年生にデートDV予防啓発冊子を配布 デートDVワークショップを開催
	現状値をもとに今後の推移を考慮し、めざすべき数値として算出				

第2次男女共同参画計画推進の指標実施状況調査票

番号	指標名	計画策定時	現状値	目標値(2021)	現状値説明
13	自治会長における女性の割合	16.8% (2015年)	19.4% (2017.4.1)	20%	全自治会長510人のうち、女性自治会長99人で19.4%（平成29年4月1日時点）
	現状値をもとに今後の推移を考慮し、めざすべき数値として算出				
14	地域子育て支援拠点事業の実施数	21か所 (2015年)	22か所 (2017年)	25か所	—
	「茨木市次世代育成支援行動計画（第3期：2015～2019年度）の目標値を引用（平成29年度に中間見直し） なお2020年度以降は、次期計画の目標値を適用				
15	自主防災組織の方針決定過程への女性の参画率	23.1% (2015年)	22.7% (2017年)	35%	—
	2016年度の目標値を継続して設定				
16	「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担の考え方に「反対・どちらかといえば反対」という人の割合	女性49.3% 男性39.1% (市民意識調査)		女性75% 男性55%	
	2016年度の目標値を継続して設定				
17	社会の慣習やしきたりで「男女が平等」と感じている人の割合	女性9.4% 男性18.9% (市民意識調査)		女性40% 男性50%	
	市民意識調査の結果をもとに「どちらかといえば〇〇の方が優遇されている」という回答者の半数が「平等」と回答するようになるよう算出				
18	自治会などの地域活動で「男女が平等」と感じている人の割合	女性43.0% 男性51.0% (市民意識調査)		女性65% 男性70%	
	市民意識調査の結果をもとに「どちらかといえば〇〇の方が優遇されている」という回答の半数が「平等」と回答するようになるよう算出				
19	ローズWAMの男女共同参画に関する図書等の貸出冊数	6,024冊 (2015年)	5,794冊 (2017年)	6,600冊	—
	現状値をもとに今後の推移を考慮し、めざすべき数値として算出				
20	男女共同参画社会推進登録団体数	17団体 (2015年)	17団体 (2017年)	22団体	—
	2016年度の目標値を継続して設定				
21	男女共同参画に関する講座の実施回数と事業に参加した子どもの人数	25回/年 1,502人 (2015年)	30回/年 778人 (2017年)	30回/年、 2,000人	—
	現状値をもとに今後の推移を考慮し、めざすべき数値として算出				
22	再就職セミナーや女性のためのスキルアップ講座の実施回数	23回/年 (2015年)	14回/年 (2017年)	25回/年	再就職応援セミナー 3回 起業交流会 1回 起業体験会 1回 合計 83人参加 実践型勤労者スキルアップセミナー 3回 63人 能力開発講座 3回 23人 就職支援セミナー 3回 37人
	現状値をもとに今後の推移を考慮し、めざすべき数値として算出				
23	男性の生活能力向上のための講座や事業の実施回数と参加人数	351回/年、 2,561人 (2015年)	375回/年 1,790人 (2017年)	390回/年、 2,800人	きらめき講座「男の手料理」32回/80人 初心者男の料理 5回/45人 おとう飯 3回/55人 市職員料理 1回/12人 パパスクール 4回/88人 男性対象講座 3回/22人 旧長寿介護課出前講座 13回/313人 旧高齢者支援課出前講座 4回/103人 つどいの広場の男性参加イベント 308回/1,070人 高校生とのふれあいまなび事業の男性参加事業実施数 2回/2人
	現状値をもとに今後の推移を考慮し、めざすべき数値として算出				